

令和6年度 第1回神栖市学校二学期制検討委員会 議事録

1 日 時 令和6年12月4日(水) 16:00~17:00

2 場 所 神栖市役所 本庁舎5階 501会議室

3 出席者 委員長 多辺田弘之：市校長会代表
副委員長 佐々木 仁：市副校長・教頭会代表
委員 稲垣 幸子：幼稚園 PTA 代表 川原 達也：小学校 PTA 代表
石川 伸也：中学校 PTA 代表 新井 崇人：教育委員会教育部長
保立 純子：教育委員会学務課長 大槻 憲永：教育委員会教育指導課長
(事務局) 羽石 哲也：学務課課長補佐 増田 満彦：教育指導課指導主事
川島友美子：教育指導課指導主事

4 議 事

1. 委員長挨拶

二学期制検討委員会ということですが、三学期制、二学期制でも様々なメリット・デメリットがあるかと思えます。保護者代表として、PTAの皆様が出席されているということで、二学期制とは何か、教員や保護者へのアンケートの結果等もございますので、是非、忌憚のない意見をいただきまして、今後のよりよい教育活動が行われる環境に向かうように進んでいければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 協議(多辺田委員長が議事を進行)

①事務局から

○二学期制について

- ・目的(見直しを行う理由)
- ・見直しの協議内容(前期・後期とした場合の日程案)
- ・期待される効果(集会活動の減少・学習時間が長くなることにより、一貫した学習が可能)
- ・県内で二学期制を実施している市町村(26市町村で実施)
- ・全国二学期制の採用学校割合(実施割合は小学校で22.3%、中学校で20.4%)
- ・今後の見通し(検討委員会の今後の開催時期、スケジュール確認)

○アンケート結果について

- ・保護者からの、学期制に関するアンケートの回答内容(1,971件)
全体的には、どちらでもよいといった回答が5割以上
- ・学校からの、学期制に関するアンケートの回答内容(368件)
全体的には、二学期制がよいといった回答が5割近く

※アンケート結果を踏まえた、学校及び保護者が考えるメリット・デメリットの説明

②委員の方よりご意見

- 中学校は、生徒会活動等も前期後期制のため、二学期制は馴染みやすいのではないかと。子供が通っている学校は、定期テストがなく、単元テストで学習評価をしているため、他の中学校と比べ、より移行しやすい。保護者としては、どちらでもさほど変わらないと考えているため、先生方の働き方改革の一端も担っているのであれば、二学期制を進めていってほしい。
- 副会長より、前任校にて二学期制を経験している。周知には1年かけて、保護者アンケートや説明を行った。子供達にはさほど影響がない。先生達には、時間と心に余裕が出来るなどのメリットはある（通知表作成・授業の準備等）。
- 鹿嶋市在住の保護者に話を聞いたところ、保護者としては通知表が減ったくらいで、特に変わらない。通知表に、生活面での項目や所見を充実してほしいとの意見もあったが、否定的な意見はなかった。先生達に時間と心に余裕が出来れば、子供達の為にもよいと思うので、個人的には二学期制には賛成。
- 神栖市は、学期末に個人面談を実施しているが、個人的には面談を減らしてほしいと考えているため、二学期制には賛成。幼稚園に関しては、どちらでもよいと考えるが、長期休養があることで、子供達には、わかりやすいのではないかと。
- 二学期制に移行することで、夏休みの課題が、前期の評価の対象になるかどうかによって、夏休みの学習意欲にも結びつくのではないかと。
- 二学期制は、教員へのメリットは大きいと感じる。子供達にとって、どのようなメリットがあるかも考えていかなければならない。例えば、二学期制に移行することで、学力が向上したなどの事例があれば、次回以降でもよいので、教えてほしい。
- 保護者の意見として、二学期制と三学期制のメリット・デメリットを提示してほしいとの意見もあったことから、判断材料として、示してもらえるとありがたい。

3. その他

- ・第2回の検討委員会は、令和7年2月を予定
- ・協議にもあった、二学期制のメリット・デメリットを提示した形で、アンケートを再度実施していきたいと考えている。次回検討委員会に、アンケート内容について諮っていきたい。